

令和元年度

大船渡湾水環境保全計画実施計画

大船渡湾水環境保全計画推進協議会

大船渡湾水環境保全計画施策体系図

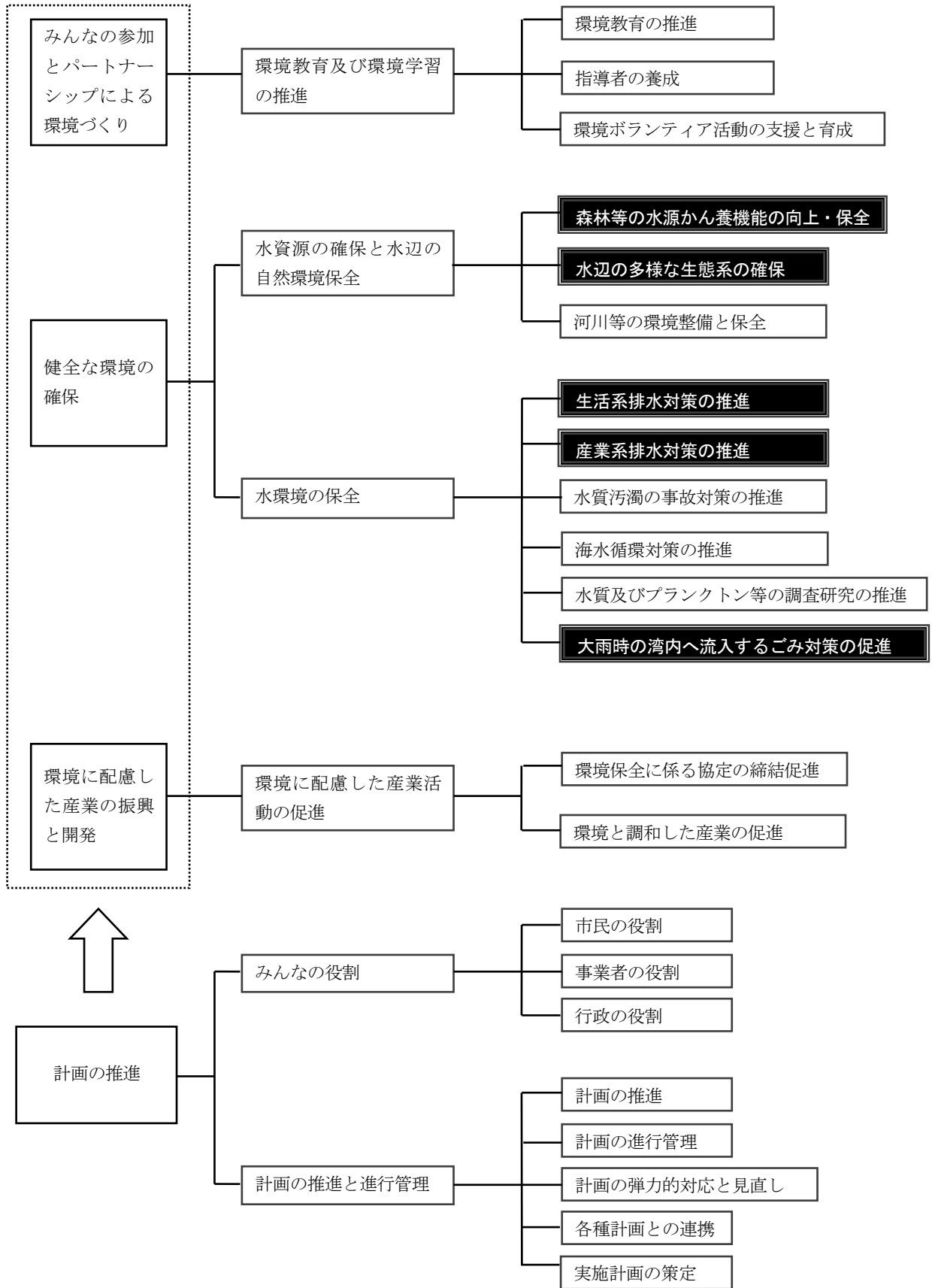
基本目標

基本方向

施策目標

施策の方向

みんなで環境と共生した心豊かな地域社会を築き
 良好な大船渡湾の水環境を将来の世代に継承する



※白抜きは重点施策

I みんなの参加とパートナーシップによる環境づくり

1 環境教育及び環境学習の推進

(1) 環境教育の推進

	事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
	「産土タイム」:門之浜湾内の養殖場にてわかめの養殖体験や国有林での造林体験を通じ、環境保全と湾浄化の大切さについて理解を深める。	末崎中学校	通年	—	—	学校教育課
	「クリーン作戦」:立根川の河川敷清掃活動(6年生)	立根小学校	4月	—	—	学校教育課
	「河川清掃」:盛川及び立根川の河川敷と道路脇の清掃を実施し、地域の環境美化とともに、河川及び湾浄化の大切さについて意識啓発を図る。	第一中学校	5月	—	—	学校教育課
	「大船渡浄化センター見学」:汚水の浄化の必要性や生活排水処理の仕組み、下水道と浄化槽の役割について学習し、浄化槽が環境保全に欠かせないことを理解する。(4年生)	猪川小学校	6月	—	—	学校教育課
追加	「大船渡浄化センター見学」:大船渡浄化センターの見学を通して、微生物による汚水処理の仕組みや汚水処理の必要性を学習し、大船渡湾の水環境保全について理解を深める。(4年生)	盛小学校	6月	—	—	学校教育課
	「立根川水質調査」:環境委員会で立根川の水質を調査し、水環境保全について理解を深める。	立根小学校	6月	—	—	学校教育課
	「立根川を調べよう」:立根川の水質を調査し、水環境保全について理解を深める。(3年生)	立根小学校	6月	—	—	学校教育課
追加	「水生生物による水質調査」:須崎川の水生生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育む。(3、4年生)	大船渡小学校	7月	—	—	学校教育課
	「水生生物による水質調査」:盛川の水生生物を採取し、指標生物の数により水質の階級を判定するとともに、盛川の環境維持についての意識を育む。(3、4年生)	日頃市小学校	8月	—	—	学校教育課
	「浄化槽出前授業」:汚水の浄化の必要性や生活排水処理の仕組み、下水道と浄化槽の役割について学習し、浄化槽が環境保全に欠かせないことを理解する。(4年生)	日頃市小学校	8月	—	—	学校教育課
	「水生生物による水質調査」:河川にすむ生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育む。(5年生)	猪川小学校	9月	—	—	学校教育課
	施設見学を受入れ、環境保全についての意識啓発を行う。	気仙広域連合	通年	—	—	気仙広域連合衛生課
	水生生物調査を奨励するとともに、調査実施団体を支援する。	大船渡市、団体	6~9月	30	市	市民環境課
	県環境保健センターを中心として、環境学習用教材の充実及びその貸し出し、インターネットを活用した広報に努める。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
	県ホームページ内に「いわて環境学習館」「いわて地元学 いわてデジタル・エコミュージアム」を開設し、地域の活動事例等の情報発信に努める。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
	環境月間において、市本庁舎に「環境に優しい暮らしはみんなが主役」(懸垂幕)を設置し、湾浄化等についての意識啓発を図る。	大船渡市	6月	—	—	市民環境課
	市広報誌に湾浄化・環境美化等に関する記事を掲載し、意識啓発を図る。	大船渡市	7月	—	—	市民環境課

(2) 指導者の育成

	事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
	水生生物調査の普及啓発や指導に必要な知識・技術の習得を目的として、県機関及び市町村の関係職員を対象に、水生生物調査研修会を開催する。	岩手県	6月	—	—	市民環境課

I - 1 - (3) 環境ボランティア活動の支援と育成

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
環境ボランティア活動に対し、物品の貸出やゴミ袋の配布等を行い、活動団体を支援する。	大船渡市 大船渡市公衆衛生組合連合会 大船渡市環境保全推進協議会	通年	—	—	市民環境課
市内の各種団体が、道路、河川、海岸等のボランティア清掃を実施する。	市内のボランティア 団体	通年	—	—	市民環境課
大船渡市環境保全推進協議会に対して助成し、清掃活動や湾内汚濁防止活動等の推進を図る。	大船渡市 (大船渡市環境保全推進協議 会)	通年	100	市	市民環境課
大船渡市公衆衛生組合連合会に対して助成し、清潔な生活環境づくり等良好な地域環境の形成を図る。	大船渡市 (大船渡市公衆衛生組合連合 会)	通年	400	市	市民環境課

II 健全な環境の確保

1 水資源の確保と水辺の自然環境保全

(1) 森林等の水源かん養機能の向上・保全（重点施策）

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
森林の適正な管理を促進するため、市森林整備計画により、森林所有者に対して森林の整備の目標や保全すべき森林等の区分を示し、森林経営計画の作成にあたっては、指導や助言を行う。 また、市有林の充実を図り、水源かん養機能を発揮させるため、高齢級間伐等の森林整備を実施する。	大船渡市	通年	20,000	国(51/100) 県(17/100) 市(32/100)	農林課

(2) 水辺の多様な生態系の確保（重点施策）

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
震災で地盤沈下した大船渡湾内の干潟造成を実施する。 ※(末崎地区1,900㎡・赤崎地区2,530㎡)今年度にて全9施設完成予定。 ※干潟5箇所にてアサリの資源状況調査を予定。	大船渡市	通年	120,953	国(5/10) 県(1/10) 市(4/10)	水産課
「産土タイム」:門之浜湾内の養殖場にてわかめの養殖体験や国有林での造林体験を通じ、環境保全と湾浄化の大切さについて理解を深める。(再掲)	末崎中学校	通年	—	—	学校教育課
「クリーン作戦」:立根川の河川敷清掃活動(6年生)(再掲)	立根小学校	4月	—	—	学校教育課
「河川清掃」:盛川及び立根川の河川敷と道路脇の清掃を実施し、地域の環境美化とともに、河川及び湾浄化の大切さについて意識啓発を図る。(再掲)	第一中学校	5月	—	—	学校教育課
「大船渡浄化センター見学」:汚水の浄化の必要性や生活排水処理の仕組み、下水道と浄化槽の役割について学習し、浄化槽が環境保全に欠かせないことを理解する。(4年生)(再掲)	猪川小学校	6月	—	—	学校教育課
「大船渡浄化センター見学」:大船渡浄化センターの見学を通して、微生物による汚水処理の仕組みや汚水処理の必要性を学習し、大船渡湾の水環境保全について理解を深める。(4年生)(再掲)	盛小学校	6月	—	—	学校教育課
「立根川水質調査」:環境委員会で立根川の水質を調査し、水環境保全について理解を深める。(再掲)	立根小学校	6月	—	—	学校教育課
「立根川を調べよう」:立根川の水質を調査し、水環境保全について理解を深める。(3年生)(再掲)	立根小学校	6月	—	—	学校教育課
「水生生物による水質調査」:須崎川の水生生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育む。(3、4年生)(再掲)	大船渡小学校	7月	—	—	学校教育課
「水生生物による水質調査」:盛川の水生生物を採取し、指標生物の数により水質の階級を判定するとともに、盛川の環境維持についての意識を育む。(3、4年生)(再掲)	日頃市小学校	8月	—	—	学校教育課
「浄化槽出前授業」:汚水の浄化の必要性や生活排水処理の仕組み、下水道と浄化槽の役割について学習し、浄化槽が環境保全に欠かせないことを理解する。(4年生)(再掲)	日頃市小学校	8月	—	—	学校教育課
「水生生物による水質調査」:河川にすむ生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育む。(5年生)(再掲)	猪川小学校	9月	—	—	学校教育課
水生生物調査を奨励するとともに、調査実施団体を支援する。(再掲)	大船渡市、団体	6~9月	30	市	市民環境課

(3) 河川等の環境整備と保全

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
安全で快適な市道環境を確保するため、市道及び市道に附帯する交通安全施設、側溝等の修繕・維持管理を実施する。	大船渡市	通年	58,000	市	建設課
道路側溝や河川の清掃等を重点とする市内一斉清掃に、市民一丸となって取り組む。	大船渡市	6月2日	1,413	市	市民環境課
盛川下流の立木の伐採等を行って河川環境を改善し、湾内への流入木を減らし、施設の被害防止を図る。	岩手県	5、6月	—	県	建設課

II - 2 水環境の保全

(1) 生活系排水対策の推進（重点施策）

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
・ごみ処理施設を点検し、環境の整備を図る。 ・ごみ処理施設周辺の排水路清掃、草刈、ごみ処理等環境美化を図る。	大船渡地区 環境衛生組合	通年	2,468	—	大船渡地区 環境衛生組合
大船渡地区環境衛生組合の冊子、チラシ等により、湾浄化につながるごみの減量化や資源化、リサイクル運動、資源古紙リサイクルの推進に努め、ごみの適正処理について意識啓発を図る。	大船渡地区 環境衛生組合	通年	80	—	大船渡地区 環境衛生組合
市広報誌に生活排水の処理(浄化槽の普及)に関する記事を掲載するなど、湾浄化に対する協力要請と、意識啓発を図る。	大船渡市	随時	—	—	下水道事業所
市広報誌で下水道事業と水質浄化について意識啓発を図る。	大船渡市	随時	—	—	下水道事業所
災害復旧業務による大船渡浄化センターの周辺整備を行う。	大船渡市	通年	11,000	市・地方債	下水道事業所
公共下水道施設(下水道管渠、大船渡浄化センター及び都市下水路)を適正に維持管理する。	大船渡市	通年	171,777	市	下水道事業所
公共下水道の整備・拡大を図る。	大船渡市	通年	1,498,745	国・市・地方債	下水道事業所
市広報誌で下水道使用可能区域、水洗化改造資金融資あっせん及び利子補給制度等を紹介し、制度活用促進による下水道の普及を図る。	大船渡市	随時	—	—	下水道事業所
水洗化改造資金の融資あっせんと利子補給制度及び低宅地汚水ポンプ設置費用補助制度により、水洗化の普及促進を図る。	大船渡市	通年	716	市	下水道事業所
浄化槽の設置届出を行った者に対し、法に基づく保守点検・清掃・法定検査等、適正な維持管理の実施について文書指導を行う。	岩手県	随時	—	—	下水道事業所
法定検査を受検せず、かつ、同検査の申し込みのない浄化槽管理者に対し、文書により受検を指導する。	岩手県	通年	—	—	下水道事業所
法定検査が不適正な浄化槽管理者に対し、改善指導を行う。	岩手県	通年	—	—	下水道事業所
安全で快適な市道環境を確保するため、市道及び市道に付帯する交通安全施設、側溝等の修繕・維持管理を実施する。(再掲)	大船渡市	通年	58,000	市	建設課
PRTR(※)排出量移動量データを県ホームページで公表し、化学物質のリスクコミュニケーションの推進に努める。	岩手県	通年	—	—	市民環境課

※PRTR…化学物質排出・移動量届出制度。どんな化学物質が、どこから、どれだけ排出されているかを知るための仕組み。

II-2- (1) 生活系排水対策の推進(重点施策)(続き)

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
会員事業所に対し、各種研修会への参加を案内し、ゼロエミッション等の環境に対する意識の向上を図る。	大船渡市環境保全推進協議会	通年	—	団体	市民環境課
衛生監視員(34名)によるパトロールを実施し、不法投棄等の未然防止や啓発等の取り組みにより、水環境への負荷低減及び生活環境の保全を図る。	大船渡市	通年	3,352	市	市民環境課
道路側溝や河川の清掃等を重点とする市内一斉清掃に、市民一丸となって取り組む。(再掲)	大船渡市	6月2日	1,413	市	市民環境課
「し尿処理施設」の適正な管理に努める。	気仙広域連合	通年	138,561	—	気仙広域連合衛生課
宅地造成等に伴う排水処理について、適切な計画により工事施工するように指導する。	大船渡市	通年	—	—	住宅公園課
建築確認申請時に、汚水の処理及び放流先、浄化槽等について関係課と調整を図りながら指導する。	大船渡市	通年	—	—	住宅公園課
宅地造成等の3,000㎡以上の開発行為に伴う排水処理について、環境に影響を及ぼさずに適正な土地利用が図られるよう指導を行う。	大船渡市	通年	—	—	土地利用課
生活排水対策として浄化槽の設置を推進するため、設置者に対する助成を行う。	大船渡市	通年	87,892	国・県・市	下水道事業所

II-2- (2) 産業系排水対策の推進(重点施策)

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
・ごみ処理施設を点検し、環境の整備を図る。 ・ごみ処理施設周辺の排水路清掃、草刈、ごみ処理等環境美化を図る。(再掲)	大船渡地区環境衛生組合	通年	2,468	—	大船渡地区環境衛生組合
大船渡地区環境衛生組合の冊子、チラシ等により、湾浄化につながるごみの減量化や資源化、リサイクル運動、資源古紙リサイクルの推進に努め、ごみの適正処理について意識啓発を図る。(再掲)	大船渡地区環境衛生組合	通年	80	—	大船渡地区環境衛生組合
市広報誌で下水道事業と水質浄化について意識啓発を図る。(再掲)	大船渡市	随時	—	—	下水道事業所
災害復旧業務による大船渡浄化センターの周辺整備を行う。(再掲)	大船渡市	通年	11,000	市・地方債	下水道事業所
公共下水道施設(下水道管渠、大船渡浄化センター及び都市下水路)を適正に維持管理する。(再掲)	大船渡市	通年	171,777	市	下水道事業所
公共下水道の整備・拡大を図る。(再掲)	大船渡市	通年	1,498,745	国・市・地方債	下水道事業所
市広報誌で下水道使用可能区域、水洗化改造資金融資あっせん及び利子補給制度等を紹介し、制度活用促進による下水道の普及を図る。(再掲)	大船渡市	随時	—	—	下水道事業所
浄化槽の設置届出を行った者に対し、法に基づく保守点検・清掃・法定検査等、適正な維持管理の実施について文書指導を行う。(再掲)	岩手県	随時	—	—	下水道事業所
法定検査を受検せず、かつ、同検査の申し込みのない浄化槽管理者に対し、文書により受検を指導する。(再掲)	岩手県	通年	—	—	下水道事業所
法定検査が不適正な浄化槽管理者に対し、改善指導を行う。(再掲)	岩手県	通年	—	—	下水道事業所

II - 2 - (2) 産業系排水対策の推進（重点施策）（続き）

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
安全で快適な市道環境を確保するため、市道及び市道に付帯する交通安全施設、側溝等の修繕・維持管理を実施する。(再掲)	大船渡市	通年	58,000	市	建設課
工業用地等の3,000m ² 以上の開発行為に伴う排水処理について、環境に影響を及ぼさずに適切な土地利用が図られるように指導を行う。	大船渡市	通年	—	—	土地利用課
農林業経営者及び農業団体が営む事業、特に畜産業における汚濁水が河川に流出しないよう指導する。	大船渡市	通年	—	—	農林課
林地開発行為(10,000m ² 超)による汚濁水が河川に流出しないよう、また、環境が破壊されないよう指導監視する。	大船渡市	通年	—	—	農林課
事業所が排出した化学物質等による地下水汚染が従来から確認されている井戸の経年水質検査の監視を行うため、過去に環境基準値を超える汚染物質が検出された井戸を対象に、継続監視を行う。 ○4地点	岩手県	通年	—	—	市民環境課
大船渡湾への負荷の軽減を図り、水環境を保全するため、多量の汚水を排水する事業者が公共下水道に接続し事業を行う場合に補助金を交付する。	大船渡市	通年	2,750	市	市民環境課

(3) 水質汚濁の事故対策の促進

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
油流出等防除資材を適切に配備し、油流出の際には被害防止に努める。また、油流出時等の水質事故発生時において、原因者に対し、原因者の果たすべき役割・責任について、周知徹底を図る。	大船渡市 岩手県 釜石海上保安部	通年	—	—	市民環境課 水産課 企業立地港湾課
オイルフェンスを配備し、油流出事故の際は水質汚濁の拡散防止に努める。	岩手県	通年	—	—	企業立地港湾課

(4) 海水循環対策の促進

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
大船渡湾内の水質調査結果を収集し、大船渡港湾口防波堤復旧に係る環境保全対策の効果を監視する。	国	通年	—	—	企業立地港湾課 市民環境課

II - 2 - (5) 水質及びプランクトン等の調査研究の推進

	事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
	環境基準適合状況を把握するため、し尿処理施設から排出される放流水の水質測定を定期的を実施する。	気仙広域連合	通年	—	—	気仙広域連合衛生課
拡充	東日本大震災後の湾内水質の継続的な把握とともに、底質及び底生生物調査や干潟生物調査、海水交流量の推定など、大船渡湾において環境関連調査を実施する。 ○海域調査(水質):10地点/各4回(6~9月) ○底質及び底生生物調査:5地点/1回(9月) ○干潟生物調査:5地点/1回(7月)【新規】 ○海水交流量推定:塩分観測結果から算定 ○負荷量の検討及び水環境保全対策の検討【新規】	大船渡市	6~9月	4,545	市	市民環境課
	大船渡湾内において、漁場環境調査を実施する。 ○定例観測 水質検査:水温、塩分、溶存酸素量、透明度等について調査 6地点/月1回(4~3月) 底質・底生生物調査:粒度組成、強熱減量、全硫化物、COD、ペントス組成 6地点/年2回(6、10月)	岩手県	通年	—	県	水産課

(6) 大雨時の湾内へ流入するごみ対策の促進(重点施策)

	事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
	関係機関と連携を図りながら、市管理漁港区域内等に流入したごみ類の回収・処理を行い、漁場環境の保全を図る。	大船渡市	通年	3,000	市	水産課
	湾内清掃船「さんご丸」により、平常時及び緊急時の湾内流入ごみの海面清掃業務を実施する。	大船渡市	通年	6,900	県、市	市民環境課
	清掃船が回収したごみを適正に処理する。	大船渡市	通年	2,130	市	市民環境課
	盛川下流の立木の伐採等を行って河川環境を改善し、湾内への流入木を減らし、施設の被害防止を図る。(再掲)	岩手県	5、6月	—	県	建設課

Ⅲ 環境に配慮した産業の振興と開発

1 環境に配慮した産業活動の促進

(1) 環境保全に係る協定の締結促進

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
地域の実情に即した環境の保全を図るため、必要な情報提供を行い、事業者、地域等との環境保全協定締結を支援する。	大船渡市 事業者	通年	—	—	市民環境課

(2) 環境と調和した産業の促進

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
県ホームページ内に「岩手県環境影響評価情報」を掲載し、市民、事業者等への環境影響評価情報の提供に努める。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
鶏舎、排水処理施設及び尿溜施設等を整備した農業者に対し、農業経営基盤強化資金利子補給金を助成する。	大船渡市	通年	133	県・市1/2	農林課
地域の漁場環境保全や水産業、漁村の多面的機能の保全等を行う。 ※大船渡市、綾里、越喜来、吉浜、盛川の各漁業協同組合において実施予定。	各漁協	通年	3,301	国(7/10) 県(1.5/10) 市(1.5/10)	水産課
公共事業等に使用する建設機械について、排気ガス量を削減するために排出ガス対策型の機械を使用するよう指導する。	大船渡市	通年			建設課
公共工事等で発生するコンクリート・アスファルト殻について、産業廃棄物のリサイクル施設に運搬し、再生材として利用するよう指導する。	大船渡市	通年			建設課

○計画の推進

計画の推進と進行管理

(1) 計画の進行管理

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
大船渡湾水環境保全計画の進行管理を行うとともに、計画の具現化及び湾浄化対策の総合的かつ計画的な推進を図る。 (推進本部会議:1回、推進協議会:1回開催予定)	大船渡市	本部会議 6月下旬 協議会 7月下旬	227	市	市民環境課

(2) 各種計画との連携

事業内容	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
環境基本計画が目指す、望ましい環境像の実現に向け、大船渡湾水環境保全計画などをはじめとする環境関連の分野別計画や主要施策などを総合的に推進する。	大船渡市	通年	—	—	市民環境課